

講演会・全体会午前の部

司会者 ただ今より、講演会並びに全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます、藍住中学校3年のf、藍住中学校3年のgです。よろしくお願いいたします。

それでは早速パネルディスカッションに移りたいと思います。パネリストは岸本風美南さん、森下隆文さん、中川華那さん、コーディネーターは吉成正士さんです。どうぞよろしくお願いいたします。



吉成 それではみなさんよろしいですか。おはようございます。吉成正士と言います。座ってお話しさせていただきます。この会も、今回で21回目になりました。ですから1回目を経験している方は、もう36歳くらいになるのかな。歴史があるかどうかは別として、それだけ積み重ねてきています。今回は、この中学生集会の卒業生3人来ていただいてお話をさせていただくことになりました。それぞれ後ほど自己紹介も含めて、お話をしてくれると思います。初めの頃のこの会は、とにかくどうやって部落差別をなくすのかっていうのが起点でした。その中で中学生のいろんな現実や思いが、ずっと語られていったわけです。それだけじゃなくて、中学生の差し迫った問題として、例えばいじめが教室にある。それを何とかしたいっていう思いも語られていきました。それだけじゃなくて、それぞれの中にあるしんどさ、例えば、「うちの家族

はこうやねん。」とか、「それどうしたらいいんだろうか。」っていう切実な悩み。去年でしたら、「自分の名前がこういうふうにつけられたんだけど、それってどうなの？嫌だな。」とか、「いやそれでいいじゃないの。」とか。「親が我が子を大事に思っていることが大事なんだから、名前はそんなに問題ないじゃないか。」っていうことを言ってくれたりとか、転校してのしんどさを語ってくれたりとか、いろんなことを去年も語ってくれたかと思います。もとは部落差別がテーマでしたけど、そこからいろんな人権について語り合われていくようになっていったように思います。

今回3人をお呼びしたんですけども、三人三様で、いろんなことを話してくれると思います。事前に打ち合わせとして話はしてあるんですけども、三人三様だなと思いつつ、内心ちょっと笑いながら、よし！がんばれ！いいぞ！みたいに思いながら、打ち合わせをしてきた次第です。今が10時40分過ぎだから、1時間やっちゃうとみなさんとの意見交換の時間がなくなってしまいうんで、1時間弱ぐらいのお話を聞いてもらうことになると思います。その後みなさんから感想とか、意見とか言ってもらおうと思いますので、聞くだけじゃなくて、「これ言おう」とか、「自分もこれが言いたい」とか思いながら、ぜひ3人の話を聞いてもらえたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

それではまず一人目になるんですけど、岸本さん、自分で自己紹介をしてもらえますか？それじゃあ、よろしくお願いいたします。

岸本 先ほど吉成先生から紹介がありました、板野中学校出身で、今は富岡東高等学校羽ノ浦校の専攻科看護師育成の専攻科1年生。来年で卒業します。岸本風美南っていいです。この会に参加したときの名字は尾形なんで、もしかしたら聞いたことがある人がおるかも

しません。今回は、自分の同級生の子が本当は一緒に来てくれる予定だったんやけど、



「弓道の試合入ったけんごめん。」で断られて、それで一応伝えてほしいっていうことはもらってきたんで、それも織りまぜて話していこうと思います。ほんまに実は20日までテストでギリギリまでがんばって、何にも考えてないけん、何の脈絡もない話になるかもしれんけど、同じこと言ったら突っ込んでください。たかだかみんなより5つ早く生まれただけでど素人だし。こうやって人権活動をするきっかけっていうことやけど、自分、俺は中学生集会っていうのは、中3の時に1回来たきりなんで、中学生集会のことはあとの2人に任せるんで、今までのことを話そうかなと思って来てます。

もともと小学校の頃から「ふれあい」っていうのがあったけど、家の事情があったりとか、親が「帰るん遅うなるけん、やめろ。」って言って、行きたいけど行けんかったし、人権てなんだろうって、もやもやした状態のまま中学校に行っていました。中学校の時に小学校からいじめられていた女の子がおって、その子はクラスから締め出しをくらった時があって。その子一人教室に入れて、まわりのみんなは外に出て。外から教室の鍵締めて、休み時間の10分間放置みたいな、そんなのがあって。全然そんなこと知らんかって。その子とは、簡単な自己紹介は4月の時にしってたけん、「何しよんだらう」って思って。同じ小学校の子に鍵借りて、鍵開けて入ったら、その子に、「お前外の状況分つとん？」

ってすごい言われて。「いや別にどうでもいいやん」て、その時は思っただけ。でも今思えばあれはいじめだったろうし、もっと小学校の時に人権やればよかったってすごい思った時でもあって。まあその子とは今でも仲いいし、お互い連絡取り合ったりしよるんですけどね。

もともとその子がいじめられとったって理由と、その子のそばにおるっていう理由で、中1の夏の終わりぐらいから、1年生は4クラスあったけど、全クラスからいじめの標的にされた。中学校の時は、親の夫婦喧嘩もひどかって、家にも居場所ないし、学校行ったらいじめられるし、かといって中学校の段階で行く場所ないしみたいな。高校だったら、「ちょっと友達んくに泊まっとるけん。」とかいって2・3日は家出とったりできるかもしれんけど、中学校で、「ごめん、2・3日どっか行くけん。」とか絶対言えんし。どこにも行くあてなくて、無理矢理「学校には行こうかな、友達もおるしな」って思って学校行っただけやけど。中学校2年生の9月ぐらいからが一番ひどくて、学校行こうって思って玄関出ようとしたら、めまいはするし、頭は痛いし、腹は痛いし、どないしようって思った。それでも無理矢理学校行っただけ。

俺、斜視っていって、黒目が真っ直ぐ向いてないっていう病気を生まれつきもつとるんやけど、それが中学校の時はひどかって。右目、みんなから見たら左側の目なんやけど、左目である女の子を見てます、そしたら右目はよそを向いてます。吉成先生の方を向いとるかもしれんよ。ほれを見た時に、気持ち悪いとか言われる。どないもできんのにさ。生まれもつてしまったものやから、つきあっていくしかないって眼科の先生にも言われとって。だけど、「にらみやがってアイツ。」みたいな、「調子のんなや。」みたいなことを言われる。誰にも相談できなくて。小学校の授

業で、いじめ問題をしたときに、傍観者の気持ちちっていうのを考えた。助けたいけど巻きこまれたくないっていう、その心理はすごい分かったから、相談してしまったらその子を巻きこむんじゃないかって思って言えなくて、ずっと抱えとった。ある日突然、プツンで糸が切れちゃって。まあここやけん言うけど、ざっくりリストカットしました。カッターナイフで腕切って。自分も赤い血流れるんやなってすごい思った。ぼーっと見よったら。2011年の時の実行委員長だった同級生が俺に思いっきり平手打ち食らわして、「なんで人権活動しよるって知っとんのに、お前はそこに来んの。」って。「お前一人で抱えて何しよん。」ってすごい怒られて。その時に、「あ、人権てこういう仲間っていうのもあるんやな。」ってすごい思った。そこから中学校で後輩とかがもし学校で、「こういうしんだいことあった。誰にも言えん。親にも言えんし、先生に言うたって……。」って思っるとる子がおるんだったら、ちょっとでも力になれたらいいなって思って人権活動続けてます。

今日一緒に話す予定だった子からもらってきた紙にもあるけど、大麻の育友会みたいな感じで、板野にも真友会って行って、地元の中高生が集まって活動する場があって、そこでもう6年間おるんやけど。あそこだったら、一番自分らしくおれる。家より自分らしくおれる場所かなって思ってずっと大事にしてるし、今おる板中の子たちはかわいい後輩になるんやけど。アットホームな感じで、やる時はやるし、ふざけるときはふざけるっていう、第2の家みたいなところを作ってくれとるんで、すごいありがたいなって思います。彼女も土曜日言よったけど、真友会なかなか行けなくて、愚痴いっぱいたまったりとか、今みんなが何しよんだらうって知りたいけど、全然行けんけん、この集会でみんながどんなふうと思っるとるんかっていうことを聞

いてきてくれって言われとるけん、仲介役としていろいろ伝えていこうかなと思います。



高校によったら人権学習って1年に1回しかせんよね。俺の学校は、普通科の勉強切り捨てても看護をやらないかんでいうカリキュラムを組まれとるけん、人権学習って言ったって、夏休みに人権作文書くやん。宿題で出されるやん。その人権作文書いてきて、人権担当の先生がこの子いいなって思ったやつだけ取り上げて、ほれを発表して感想書いて終わり。人権学習それだけなんよな。まだ地元の高校だったりとか、弟が行きよる北高とか鳴門の方とかは、きつともっといっぱいしよるんじゃないかって思うんやけど。ほなけん中学校の間に、身近な差別とか、身近な人権問題っていうんを、しっかり学んでもらいたいなっていうのは、彼女と俺の意見です。大人になったら、こっちが正しいのに、向こうが先輩やけん向こうの言うことを聞かないかんでいうときがすごいようけあるんよ。向こうが年上やけん、年下が掃除するもんじゃっていう理不尽なこと言われて、「それはおかしいんじゃないですか。」って言いたいけど、それが言えんていう立場に立つときが多々あると思うんよ。高校卒業して、大学行って就職していったら。けどこうやって人権学習していたら、その時は流されてしまっても、「あれは違うんじゃ」って思っるとることで、自分の一個下の代から変えることができるかもしれんし、「これっておかしいない？」っていうんを、人権学習した仲間に相談できると思うんで、こういう会とか、中学校の人権活動とかを大事にしてっください

い。

あと、人権て実は大きな挫折とすごい関わりがあって。俺、去年の4月に車にはねられて、右肩と右足が半身麻痺みたいな状態で、力入らんし立てんしみたいな、どん底のような状態まで落ちて。精神状態も。体が徐々に戻っていったと思ったら、今度痛みとかが消えた頃に、精神状態が落ち込むんよね。大きな事故とかしたときに、トラウマで、夢でもう一回はねられる夢を見たりとか。何もできるのに自分おっいていいんだろうかって、すごい自分責めたりとか。ほとんど移動も全部人任せだった時もあった。右足で踏ん張れんけん、左足と左手だけで歩きゃったし、右手は利き手やけど使えんし。おっいていいんかなってすごいどん底になった時に励ましてくれたんが、その真友会のメンバーで、事故したっていうんも一番に伝えし。



今、「私」って言わんと「俺」って言よるんは、実は『性同一性障がい』って一応診断はもらったけど、別に特に何にもないよみたいな。別に、みんなの前では「俺」って言ったらいわけやし。その場その場わきまえて話しよったらいいいんじゃないかなって思って、特に何の治療もしてません。自分が「俺」って言いたって、男っぽくおりたいっていうんを親に全然言えんかったんもあって、ちょっと精神的に鬱になりましてですね。今の中学校で言ったら、「病む」っていうんかな。めちゃくちゃ病んだ。ものすごい悩みに悩んで、精神状態がズタボロだったわけで。中2のときよりズタボロだったかもしれん。そこまでいったときに、真友会のメンバーは、「無

理せんでええ。お前はお前なんやけん。」で言うてくれて。それで、実は1年留年してます。本当だったら来年の2月には国試を受けに行く学年だったはずでした。事故もあって、精神的に大きな挫折を受けたんやけど、立ち直るきっかけくれたんは、その人権やっ取るメンバーだったりとか、中学校の頃からいじめられとるんを支えてくれた友達だったりとかです。思いっきり中学校の時に挫折した子もおるかもしれんし、諦めるっていうか、もうこんな無理やっと思ったときがある子もおるかもしれんし、これからあるかもしれん。高校行ったりとかして、スポーツとかしよたら、スランプに陥って挫折っていう子も多いかもしれん。けどそんな時に、ここで知り合ったメンバーとか、もちろん俺とかでもいいし、吉成先生でもいいし、学校の人権の先生でもいいし、ここにおる二人でもいいけん、何か一言、「助けて。」でもいいし、「どうしたらいい？」でもいいし、いきなり泣きついてもかんまんけん。何か支えになりたいってずっと思っ取るんで。大きな挫折と人権てすごい密接やから、この場におることをすごい大事にしてもらいたいと思います。

吉成 ひとつだけちょっと構わん？「ふれあい」っていうのが、たぶん分からんと思うのよ。「ふれあい」って言われても分からんよな？「ふれ合うことやな」みたいに思うかもしれんのやけど、「ふれあい」の正式名称と、「ふれあい」って何なのか、ちょっとしゃべってもらえる？

岸本 正式名称が「板野町子ども人権ふれあい活動」ってあって、中学校とか小学校から人権について考えるための場を設けてもらってるっていうか、設けてくれる場所で、身近な差別、部落差別、女性差別、いじめ、ハンセン病問題とかそういうのを全部ひっくるめて、みんなで話し合う活動です。分かるかな？

吉成 「ふれあい活動」分かってくれたかな？それと話の中で出てきたことで、真友会と育友会っていう名称が出てきたんやけども、真友会ってこういう字を書きます。大麻の育友会はこういう字を書きます。それぞれがどんな会かは、話の中身を聞いてもらったので、分かってもらえたかなと思うんですけども知っておいてください。とりあえず岸本さん、これでおいておきますか。たくさん問題提起をしてくれたような気がします。もしかしたらね、こうやって聞いているみなさんの中に、同じように身体的特徴で嫌な思いをしたっていう人もおるかもしれない。私ね、耳がこんな耳なんです。こんな耳といってもみなさんと同じ耳のはずなんですけども、ちょっと耳が立ってるの。寝てないの。この前も中学生に猿って言われてね。まあ、猿といえは猿だなと。耳がこういう状態でよく言われるんですけども、別に言われてもどうってことないのでいいんですけど、私の場合はね。ただみんながそうかって言われると、そうではないこともあって、嫌な思いをしてる、してきた、したことがあるっていう人も、もしかしたらいるんじゃないかっていう、そういう問題提起になったかもしれない。また、お家のこともお話に出てきましたし、リストカットの話も出てきましたし、それから事故に遭ったっていうことね。なかには事故に遭った方も、この中にはいるかもしれないし。それから、性同一性障がい。呼び方については、まだ十分熟成してないので、性同一性障がいっていう呼び方のままでこれから先もずっといくのかっていうことについては疑問ですけども、今のところはそういう呼び方が一般的かなって思うんですけど、そのことについても話がありました。いろんな面からみんなの心にヒットした部分があるんじゃないのかなと思うんですけど、また後で感想とか意見とか言ってもらえればと思います。それではこの

後、中川さんと森下さんからお話をしてもらいますので、それじゃあよろしくお願ひします。

中川 じゃあみなさん、1回背伸びしましょう。ぐーって。ちょっと楽になりました？じゃあお話を始めたいと思います。私らこんな話すん初めてなんで、ちゃんとカンペ作ってききました。



森下 カンペ作ったね。金曜日、20日だったっけ？21日ですか先生。話し合ったのは。

中川 自己紹介なんですけど、大麻中学校出身の中川華那と申します。

森下 俺も？俺も大麻中学校の森下隆文です。

中川 私らは幼なじみで、ずっと0歳から一緒に過ごしてきた仲なんですけど、ずっと小学校と中学校一緒、保育所も一緒だったのかな。

森下 保育所も一緒やね。もう気づいた頃からは。物心ついてない頃からずっと一緒やね。

中川 それと同様に、人権の勉強も一緒に参加してきました。人権のこととかそういうことに関しては何でも言い合えるっていう仲にはなっています。

森下 たぶんね。でも4年前かな、その席に座って俺らばかりしゃべって。

中川 そうやね。中学生集会の実行委員長もや

らせてもらってました。今日話す内容なんですけど、これは打ち合わせの時に言うかどうか迷って、結局最初に言うってなったことなんですけど、私たちは被差別部落出身の人間です。何でこれを言うん迷ったかっていったら、中高生集会とか中学生集会に参加してきた中で、グループトークっていうん、みんなしたよね。その時に、話題としてそれを出すでえ。そうしたらみんな黙り込むんよね。みんなね。

森下 だいたいね、まあこういう雰囲気じゃわ。

中川 「シーン」て。いっぱいしゃべってくれよった子がおったとしても、それを言った瞬間に黙り込むんよね。「シーン」てなってしまふんよね。何で言ったかっていったら、みんなグループトークとかするとき、「その中にもしかしたら地域の人がおると思って考えてしゃべりなよ、しゃべってください。」っていうん聞いたこと、言われたことがある人、手を挙げて。おるおる。そうやって言ってくれてたんよね、先生方は。ほなけど実際おるって分かってないっていうか、考えただけでしゃべるんは難しいかなって思って最初に言ったんですけど。吉成先生からも聞いたけど、大人の方でも、それを言ったときに黙り込むっていう方もいらっしゃるみたいなんですよね。だから今日はその壁を乗り越えて、それでも、ちゃんとおるって分かったうえで考えてしゃべれるっていう、その壁をみなさんに乗り越えてもらおうと思って、先に言わせていただきました。

森下 一応俺らの中では、今日の話については、嘘とか作った話とかは絶対言わんとこうなって二人で、先生もほうやけど三人で言ってきた。言いたくないこともみんなたぶんいろいろあると思うんやけど、ほれを別に「言え。」とは言わんし、かといって嘘も俺らはつきた

くないけん、ほんまにありのままのあった話も言うし、これから自分らに降りかかってくるだろう結婚差別やら、いろいろな差別についての不安な話とかも、いろいろ言うていきたいと思っとうけん。逆にそういう話をしたときって、さっきも言うたけど「シーン」とした、しんみりとお経を聞きようような話になってまうんが、だいたい今まで自分らが経験してきた会なんやけど、ほうじゃなしに、俺らが前でおるけん、全然話しよる間でも、「これは違うんですか。」とか、明るい雰囲気で行きたいなって思ってます。どうですか。



中川 ここでみんなに質問なんですけど、お肉好きな人。(挙手)牛肉とか焼き肉とか好きな人。好きよな。みんなお肉好きよね。ありがとう。何について話すかって言ったら、このお肉とか牛とかを捌くっていうん、解体してお肉にしてる人って誰なのかっていう話なんですけど。だいたい、ほとんどが被差別部落の人なんだそうですね。なんだって。

森下 らしいね。なんでやろなあって、俺らの中では。他のみんなもほうやけど、好きって言うてくれたし、俺も好きなんやけど、美味しいと思って食べるものやのに、なんで供給してくれよる人たちに向かってお前らはそういう仕事しよんなみたいな。

中川 穢れとうとかね。？

森下 穢れとうけんお前らはのけもんじゃとか。普通に考えたら、牛とか豚とか鶏に感謝

するんもそうやけど、さばいてくれた人にも感謝せなあかんと思うし、それに対して、のけもんにしたり、被差別部落っていう地域に仕立て上げる世の中はおかしいん違うんかっていうんは、俺らは思ってます。

中川 何て言ったらいいんだろう。先生、この地域が被差別部落だったんですけど、この地域には馬頭観音っていうちっちゃい建物があるんですよね。そういう牛さんとかを食べ物にして魂を奉るっていうか、沈めるところなんですかね。合ってます？そのさばいた人にも、ちゃんと牛さんや豚さんにも感謝してるんやから、被差別部落の人が穢れとうとかいうんじゃないで、食べ物をいただききよる人も、してくれよる人に感謝するんが普通じゃないかっていう話を、打ち合わせの時にもしました。そんなん考えたことなかったでしょ、みんな。あった？ないよね。私もなかったもん。

その話は一旦終わって、次に。タイトルを私が見つけて、「優しい種から笑顔の花」だったのかな。でも、優しいっていういろんな意味があるなって思ったんよね。ほんまの優しさって何なんだろうなって。

森下 ちょっとこのへんしゃべっていい？さっきも俺、部落出身やけんていうて、自分の優しさについて考えたときに、あるか無いかで言うたら、半々とは思いうんやけど。結婚差別について考えたら、自分が部落出身ですよって、自分の将来結婚する奥さんだったり、その奥さんの家族まわりに言うた方が、その人らにとって優しさなのか、それとも「自分はこの地域でした。」みたいなこと言わんと、一生隠したまま、被差別部落とかはまったく言わんと隠し通して人生を過ごしていく方が、自分もその人らにとっても、そっちの方が優しいんか、ここって結構難しい点かなって俺の中では思う。でも俺の中では自分が部

落やけんていうて、実際差別を受けたかどうかでいうたら意識の中ではないけん、別に言わんとかじゃなくて、言うてもいいぐらいなんやけど、ほれを言うたところで実際、まわりの人がどういう気持ちになるんかとか、そこを考えだしたら、ただ優しいっていう言葉で、俺もほうやけど、この前までは、優しい人やなとか、あの人優しいなっていうだけのことかなって思うとったけど、裏を返してみたら、優しさっていったい何だろうと。言う方が優しいんか。ほれとも自分の中だけでとっとくべき課題なんか。ここってめっちゃ難しいかなって思うんですけど、吉成先生どうですか？

吉成 いきなりですねえ。それはどうでしょうね。どっちが優しいんですかね、中川さん。



中川 えっ、私ですか。まあでも親とかに例えたら、子どもを甘やかして、甘やかして、甘やかして、甘えた状態の大人に育てるんが大人の優しさかっていうたら、そうではないと思うんよね。厳しく、子どものためになるから怒るっていうんもほんまの優しさって思うし。結婚するってなった時に、被差別部落って言えば、もしかしたらその人から差別されるかもしれん、親から差別されるかもしれん。自分をもしかしたら犠牲にするかもしれん。でも言わんことで自分の中にももやもやが残るよね、きっと。これ言った方がいいんかな、言わん方がいいんかなっていうもやもやが残るんよね。ほなけん何が優しいんかっていうたらその人その人の中の優しさが、多々それぞれあると思う。ていうんが私の答え

だね。

森下 どっちがいいんだろうな、実際。

中川 私は今、つきあってる人がいます。優しいんじよ。格好いいんじよ。ほなけど、その人のお祖母ちゃんとかお父さんお母さんが、駄目っていう人なんですよ。私は、別に言わんでいいことなんかなって思ってたんですよ、最初。ほなけどちょっといろいろあって、言わざるを得なくなっちゃったんですよ。それでつきあってる人本人は、全然そういうのに興味なくて、「何それ」状態なんですよね。だから、親から言われることってやっぱ強いんかなって思ってた。親から言われたから駄目なんじよなっていうのがあるっていうか、親には逆らわないみたいな感じがあって、駄目なんかなって本人も言っちゃって。ほれはつきあう前に言ったんですよ。私が被差別部落じゃよって、部落の地域じゃよって。親もほうやって言うっていうこと自分も知っちゃったけん言うたんですよ。ほれでもし男の人が、もし結婚てなった時に別れる、それが原因で別れるって言うんだったら、自分は棄てられるって分つとる身でつきあおうと思わんでしょ、みんな。もう自分は棄てられるって思つとるところで、じゃあこの人とつきあいますって言うわけないやん。だから、もしそれで別れるっていうんだったら、もうつきあわないっていうのを最初に言うっちゃったんよね。いろいろ部落のこととか人権のこととかも説明して、ほれはおかしいよなっていう話でちゃんと同意もしてくれて、親が何か言うてきたら、自分もちゃんと言い返すし反対するっていうのを言うてくれたんでつきあってるわけなんですけど。さっき言うたみたいに何も人権の勉強してなかったら、もし親が駄目って言う人だったら、親から言われたことってたぶん結構強い気がする。何も知らん状態で間違っ知識を入れられたら、間違っ

た知識だけが入ってしまうんよね。だからほの人も何も分からんけど、でも親が言よるけんそうなんかなっていう考えがあるんよね。でも男の人の親からしても、たぶんお祖母ちゃんが厳しいけん親にもほうやって言うて、親が「ああそうなんじよ」ってなつとると思うんよね。私の推測やけど。てなつたら、だんだんだんだん言うてきたら、そういう意識をもった子たちが増えるっていうことにも多分なつてくると思うんよね。だからさっき言うたみたいに、結婚とかなつたときに言わんでことは、自分は勉強しとんのにその知識を広めん、その考えを言わんでことは、止めるっていうか、そのまま悪い考えを埋め込んだままになるっていうか、駄目じゃん。駄目じゃん。だから、これから結婚していくときとか、自分が結婚するてなつたときは、言うた方がいいなつて、その時に思つたんですよ。今つきあつとる人の親がそういう考えになつとるけん、なんでほんな考えになつたんか、なんでほんなことを思つとんかっていうことも聞きたいなつて思つてますね。チャンスだと思つてます。これは。このつきあいは。自分の中での勉強、大事ですよ。

中学生集会とか中高生集会にずっと私達も参加してきたんですけど、中高生集会と中学生集会が分かれてる理由をこの前初めて知りました。ここは本音で語り合う会と聞いたので、いろいろ自分のことだったり出身のことについてたりも話させていただきました。



森下 まあ本音で言うて、結構言いにくいし、こんだけおつたら俺らも結構、来た時は緊張

しとったけん。最初はたぶん、これ言おうあれ言おうって、あの人が良かったけんこの感想言おうって、たぶん思いながらしゃべり出すんやけど、いざマイク持ってきてもらってパッて渡されたら、何言うたらええんてなるんよ、これほんまに。でもな、ここで、「あいつ何言よんな。」とか、「何思っとんな。」っていうんじゃないで、優しい目で見てほしいよな。誰もが正解とか間違いはないはずなんよ。絶対って言うたらあれやけど、間違いはないわ。正解が分ったたらこんな勉強もせんでいいっていうか、せんでいいではないんやけど、こんな会も開く必要もなくなるはずよ。分ったたらな。なんで解決せなあかんのかっていう正解さえ分ったたら。ほなけどみんな分らんけん、いろんな人の話を聞いたり、「楽しかったです。」でもいいやん。今日来てみて最初は前でしゃべんよった人たちは眠たかったけどみたいな。「聞きよったら眠かったけど、結局最後の方までおったら楽しかったです。」っていうだけの感想でも俺は全然いいと思うんよ。その子にとってもいろいろ勉強になるし、間違いはまずないと思う。こういう会で話すことで分らんようになることはある。実際今もしゃべんよるけど、何言よるか分らんよな。でも、ただ一つ言えるんは、これ言うたらあかんとかないはずよ。俺らも中高生集会の時に、被差別部落出身の人もおるかもしれんけん、あんまりグループ会議とか討論ではひかえてくれって言われました。中3ぐらいかな。結構キャピキャピしとった若かったときに。ひかえてくれって言われてたにもかかわらず、俺らは言うたけん、「シーン」とはなったんやけど。実際そこで言うたけんていうて、俺はあの時間違ったことをしたって今でも思うてないんよな、全然。逆に言うたら、その人らにとっても、「こんな身近にほんまにおるんやな。」とか、「先生の話聞いただけでほんまにおると思わなかったわ。」っていう子もたぶんお

ると思うんよ、実際。ほなけどほれによってちょっとでも勉強できたら、俺も言うたかいがあったと思うし。間違いはないと思うけん、今日も午後からいっぱいあると思うけど、全然質問だったり、俺らも分らんことだらけやけん、今日も勉強させてもらいに来とうような感覚やね。ほなけん気軽に話せる空気づくりを、まず俺ら大人ができたらなと思ひながら話よんやけど。



中川 中学生集会とかに参加しとって、しゃべんよって分らなくなったりしてしまったときは、先生がたぶん助けてくれるんで、気軽に意見とか言うてくれたらといいと思う。これに参加しとったら、いろんな話聞いてきたけど、自分の将来に関わるかもしれないこともあるし、この会に参加しとって損はなかったなって思うときが絶対来ると思う。この会を独立して作ってくれた先生方に、私らは今ほんまに感謝しとるし、みんなもこの会に参加しとることを、誇りに思っしてほしいなって思ってます。まあこれは姉から受け継いだ言葉なんですけど。「誇りに思えよ。」って、「大事に思いなよ。」って言われてきた言葉なんで、みんなにもそれを受け継いでいきたいなって思っ言わせてもらいました。

森下 ほうやね、育友会どんな活動しよるかって言うといたげる？

中川 育友会。正味、中高生集会や中学生集会の打ち合わせする以外、お菓子目当てで私ら行ってたんで。お菓子くれてたんですよ。森先生だったり、金重先生だったり、佐川先

生だったり、初子さんにもお世話になったし。けど、それに参加することで先生方とも仲良くなれたし、普段人権の授業してくれよる先生でも、こんな自分のプライベートなこととか話したりできんでしょ、みんな。できんと思ふんよ。私もできんかったもん。ほなけんその会に参加して先生ともっと仲良くなって、人権の話でも中学生集会の帰りとかでもめっちゃ森先生と、「こんな話があつてな、どうたらこうたらでな。」っていう話をしよつたし、できるようになつたし。一緒に参加しよるこの人とも、こういう仲になれたし、育友会はあつて良かったと思ふし。さっき言つた真友会みたいな、自分の居場所になることもあるかもしれんから、そういう会とかね、地区のところの会とかあつたり、こういう会があつたら、みんなにも進んで参加してほしいなと思ふます。じゃあ私たちの話を終わりにしたいと思ふます。ありがとうございました。



吉成 きょうだいで参加してくれる子がいるのよ、この会にね。きょうだいで参加してくれるとなおいっそう嬉しいのね。運営してる者とすれば。あのお姉ちゃんの妹か、みたいな。あのお兄ちゃんの弟か、みたいな。もう今や親子の状況ができてるんで、あいつの娘か、みたいな感じよ。やっぱり嬉しいのよ、きょうだいで参加してくれてるとか、親子で参加してくれてるとかいう状況があるとすごく嬉しいので、お姉ちゃんがそうやって言ってくれてるっていうのは、心がここに今もあるのかなって思うと、やっぱり嬉しいですよ。あと、板野で言う真友会が第2の居場所って

いうのと同様なものが育友会にもあるのかなって。うちの地元にはそういうの無いのよ。ありますか？みなさん地元。学校じゃない、家でもなく、けどもう一つ別に自分の居場所みたいな。家が居場所だったらそれはそれでいいと思ふのよ。学校が居場所だったら学校が居場所でもいいと思ふんだけど、学校はいつか卒業するやん。まあ家もいつか卒業してしまうかもしれんけども。だけど第3の居場所みたいな所があつたらね、ずいぶんと救われる人たちがいるのかなって感じました。これはみんなに訊きたかつたんだけど、心の中で手を挙げてほしいんですよ。自分の身のまわりに被差別部落、部落、同和地区出身の人がいるっていう人、心の中で手を挙げてみてください。手が挙がつた人っていうのは、良い意味でどこか意識すると思ふんですよ。だけど手が挙がらなかつた人っていうのは、今回二人がお話ししてくれましたけど、「おるんや。」って、「ほんまにおつたんや。」みたいな。お化けでも何でも無いんですけど、もしかしたらそんなふうにしたかもしれない。だけど、今までにもいたのかもしれないのよ。いたけど知らなかつた。本人が言わなかつたから。分からなかつたから。それだけかもしれないなって気がするんです。本当はいるのにいないことになっている。それが、部落差別の一つの大きな特徴だと思ふんですよ。これは部落差別だけじゃなくって、岸本さんも言ってくれたけども、例えば性同一性障がいの方が身のまわりにはいないという前提で、すごく差別的な言い方をしてるケースがあるんじゃないかなと思ふんですよ。そんなこと感じたことない？

岸本 親がバラエティとかで、IKKOさんとかはるな愛ちゃんとかおるやん、今だつたらりゅうちえるって分かる？あの子がワーって言よるときに親が、「気色悪い。」って言つたんがすつごい、「あつ、俺もその部類なんや。」

って思ったときとか。その時は親に自分がこうですって言ってなかったけど、「やっぱりそういう意識なんやね。」っていうんはすごい思います。

吉成 そうというのが誰しもあるかもしれないのよね。僕もそう。あるかもしれないわけですよ。そしたら、どこかで誰かを傷つけている可能性があるということよね。人権感覚を磨くっていうのは、そこに切り込んでいくことなのかなっていうことを、話を聞いていて思いました。もしかしたらそれだけじゃなくて、例えば身体的特徴を指してまわりで言っていることが実は「ズキッ」ときてるけど言えない。そういうケースもあるのかなと思ったり、いろんなことを考えましたね。あとはみなさんからの感想とか意見をもらいながらやりとりをしていきたいと思いますので、とりあえず進行を司会のお二人に返したいと思います。

司会 どうもありがとうございました。それでは残りの時間、感想や質問、意見交換を行っていききたいと思います。マイク係として板野中学校3年のa bさん、板野中学校2年のa nさんの二人がフロアをまわります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。

板野中学校 3年 h 言いたいことが多すぎて話がまとまん気がするんですけど。問題提起の量が多すぎて、めっちゃ言うこと多いみたい。脳内でどうしようと思いがらまとまらずにとりあえずもらいました。まず風美南先輩の話からなんですけど、私も真友会に行きよって、ここにおける板中の奴ら結構半分ぐらいほうなんですけど。風美南先輩の今日話した内容っていうのは、確か一回ぐらい聞いたことが、確か一回話してくれました

よね。

岸本 小学生とか「ふれあい」やんよる子たちがおる一夜研修っていって、昼から夜8時まで高校生、中学生、小学生、見守ってくれよる大人の人合わせて全員で、人権についての交流会っていうときに、ちょっと話した内容ではある。



板野中学校 3年 h ですよ。やっぱりこれ聞いたことあると思って。でも、その聞いた内容のなかでも、性同一性障がいのお話っていうのは確かなかった気がするんですよ。その話聞いて、でも風美南先輩はやっぱり私たちにとって風美南先輩だから、別に性別がどっちだろうと風美南先輩は風美南先輩っていう人だから、別にどっちだろうと私たちには関係ないです。先輩にも私は励ましてもらうことも多かったり、たぶん私もこいつらも今、真友会は居場所になってるんじゃないかと思います。育友会の方もたぶん、大麻の人たちにとって、たぶん居場所なんじゃないかなって。そういう居場所があるって素敵だなって。部落差別の話とかも聞いたけど、ずっと疑問なのが、なんで結婚の時にわざわざ言わなんだらあかんの？だって、どこで生まれたって一緒じゃん。一緒じゃないですか結局。どこで生まれたか、その地域が違うだけ。なんでわざわざ言わなんだらいかんの？でも、ほうやって単純にいかんのが結局世の中なんかなって思ったりとか。でも、何かしていくうちに、わざわざ別に言わんでもいいようなふうにしていけるんじゃないかなって、私は安直

ながら思っています。

森下 ありがとう。さっき言うてくれたんやけど、たぶんそれが彼女の優しさなんだろうなって思うな。彼女自身の感性は、そっちの方が安全ではないけど、別に言わんでもいい話なんだろうな。でも、それがたぶん彼女の優しさなんよな。でも俺らからしたら、いろんな先輩方の話を聞いてきた中で、言わなかったらいいときもあるだろうけど、やっぱり隠すもんでもないかなとも思うんよな。実際自分らが生まれた地域はそうやけど、全然受けたこととか差別されたとか、そういうのでもないし。そういう優しさも逆に、「自分は部落の出身やけど、全然あれですよ。」みたいな正しい知識を教えただげるんも優しさの一つでないかなって。まあいろいろあると思うんよほんまに、優しさだけでも。彼女はそういう優しさをもっとると思うけん、そういう気持ちを大事にしてくれても全然いいかなと思います。

徳島北高校 1年 i さっきの話の中で、中学生集会と中高生集会の違いって話が出たけど、どんな違いがあるんですか。

吉成 中高生集会って、県外の人は何のことかと思うんですけど、ここの会とは別なところで、徳島県内の中学生と高校生が一緒になってやる人権の会があるんです。ここは中学生の集会、今発言したのは高校生ですけど。21年前にさかのぼったら、この会はこの会で独立してあって、高校生の集会是高校生の集会以て独立してあったんです。それぞれで頑張ってたんだけど、ある時期に一緒になったんです。一緒になった時期があって、その時にこの会がなくなりそうになったのよ。僕らはずっと夏休みのこの会を目標にやってきたから、この会を潰されたのでは困るって言って闘ったわけ。闘った結果、中高生の集会是中

高生集会で残り続けていって、我々は我々でそれまでの会から、「できないんだったら自分たちでやるよ。」って言ってこの会が続いているって話なんです。この会は、去年ここに来ていただいた松浦さんが言ってたけど、通常こういう大きな会開いてたら、来賓とかいうお偉いさんがいるんだけど、この会にはいないよね。そのなかで、自主的な教員の会として20年間も続いているところがすごいところですよって話を言ってくれてたのが、そこなんです。だけど、今発言してくれた彼女や、両サイドにいる高校生らが今までもそうだったように、もう一つある中高生集会の方の役員スタッフとして、ここを卒業した中学生が、中高生集会を盛り立てようとしてるって言うことが、また嬉しいわけです。だからこの会はこの会の意味があって、中高生集会是中高生集会の方でまた意味があって、広めていってほしいなっていう思いがあり



大麻中学校 3年 j なんか岸本先輩の話で性同一障がいの話が出たんですけど、中高生の集会以て一回参加して、性同一性障がいについて勉強して、私はそんなにその人たちのことを偏見の目で見たりはしないんですけど、先輩たちから見てそういう人たちのことをどう思いますか。

岸本 それは俺から見てってことでいいのかな。俺も最初は、看護学校行って初めて知ったことなんよな。「あっ、自分でこれだったんか」って思ったときもあって。なかなか理解してもらえないという苦しさはあると思う。ほなって、俺の場合、親が分かってくれんけ

んな。親の前で「俺」って言って、「腹減った。」って言ったら、「女の子がそんな言葉遣いせん。」って言って怒られて晩飯抜きだったりとか。「いや、でも俺は俺なんよ。」って、分かってくれん苦しさはあると思うし、俺から見てどんな性別だろうが、ほら男の人が実は女子力が高いって言われたりするんは、別にそれはそれでいいと思うし、それはそれで誇っていいことなんじゃないかなって俺は思う。

吉成 こういう会してるとね、何人もカミングアウトしてくれたことがあったのよ。この集会に参加していた人、この集会から巣立っていったメンバー、この集会に絡んできてくれたメンバーのなかで、実は何人もカミングアウトしてくれてきた子がいた。だから元は部落差別を考える会だったんだけども、いろんなところにヒットしてるんだなっていう気がしますね。



屋島中学校 3年 k あんま人前でしゃべったことないんで、緊張して言葉がペラペラ出ないんですけど。今回話聞かせてもらって、今回の話で出てきた差別以外にもいろんな差別があると思うんですけど、話聞いてあらためて許せないなっていう気持ちが強くなりました。それと同時に自分の経験で後悔しとる経験があって。小学校5年の時にクラスで一人いじめられとる人がおって、ほんまちょっとした理由でいじめられとって、自分はそれを助けようとしたら、いじめの標的が自分になるんじゃないかなっていう、そういうこと

を恐れて助けられなかった。もうちょっといじめられとる人の気持ちを考えて分かってあげて、手を差し伸べてあげたら良かったなって今後悔してます。差別は人間自身が生み出しとるっていうことが悲しいし、それを助けられなかった自分もとっても悲しいです。差別はいけないとこんなにも投げかけている人がいるのに、それでもなくなる差別を許せないと思います。自分もそういうのがなくなるように、頑張って努力していきたいと思います。

内浦中学校 1年 l うまいことしゃべれないかもしれないんですけど、今はこういう大きい場だと「私」とか、先生の前だとやっぱ「私」って言うんですけど、普段は自分のことを名前と言っていて。でもその理由が、普段自分のことを「私」って言うのがすごく嫌って言ったならあれなんですけど、そういうことにすごく抵抗があって。でもやっぱりその時に、「俺」とか「僕」って言ったら、やっぱまわりがどういう反応するかなっていうのがすごい不安で、そういうことが言えないんですけど。これからどうしていったらいいのかなっていうのを質問したいです。

吉成 どうしますか？岸本さん。

岸本 俺なんですか？そうやな、質問の答えに、期待に添えるかどうか分からんけど、実は俺も、家では「俺」って言えんかったってさっきも言ったけど、実は学校でも、中学校は仲ええ子の前だけで俺って使ってたし、先生はたぶん俺って言つとるのを聞いたことがあるのが多いと思うし、俺も「私」って言うんは実はごっつい抵抗がある。ほんまに形式張ったとこじゃないと絶対使いたくないっていうんがあって。ほら高校入試とか、面接とかな。俺って言えんなっていうんは分るけど。今たぶん悩んどることっていうんは、まわりを気

にしとるっていうんが一番強いと思うけど、たぶんこの場におけるメンバーとか人権を学んできよる仲間とか、俺でいう真友会の場だけとか、学校の人権部のみんなっていう場の中だけでも、自分のことを自分の名前で言うっていう、そういう特別な場所を作ったから楽になると思います。答えになったかな。

吉成 この会が始まる時に向こうの二人がね、「机をひっつけませんか。」って言ったでしょ。下でいるときにそれを言ってきてくれたんだけど、「それ上に上がって言ったら？」って言ったんですよ。そういう発想とかアイデア、行動力・実行力っていうのは大事にしてほしいなって思うんです。努めて明るく二人は話をしてくれました。もともと明るいんだけど、明るく話をしてくれました。差別は確かに深刻かもしれない。それは性同一性障がいについてもそうかもしれない。だけど、深刻かもしれないんだけど、それを乗り越えていくとか、人権についてこうやってみんなと語り合うとかっていうことまで深刻にしちゃうのはどうなのって思う。差別は深刻であっても、それをなくしていこうとか、乗り越えていこうとか、人権について語り合おうっていう場は、明るく元気であっていいんじゃないかって思う。それは、今ここにいる中学生、高校生の若さのパワー、もう卒業した人にはないかもしれないけど、そんな学習をしてほしいなって思う。していきたいなって思うんですよ。受験勉強は大事だけど、誰か言ってたな、勉強大事って言ってたな。勉強大事だと思ってるんですよ、私も。だけど、受験勉強だけ大事ってわけじゃないよな。そう思いがちかもしれないけど、結局は正しいことを学んでいくってことでしょ？正しいことを学んでいってるうちの一分野として受験勉強があるだけであって、正しいことを学んでいくことに変わりはないと思うんですよ。そういう意味の学び、学習っていうものを、み

んな積み上げていければいいんじゃないかなって思うんですけど、どう思います？



森下 大麻中学校で全校生徒300ぐらい。高校入って600~700ぐらい。次、社会人になったら、1000人単位の会社。今、藍住の方で働つきよんやけど、ほれぐらいの人と関わることになるんよな。そのなかで、ほんまの、その人自身の内面とかまったく分からんけど、関わる中でいろんな人がおるなって、この4年間、中3の時から高校に入っても感じたし、高校卒業してから社会人になってみて、社会人には、言い方悪いかもしれんけど、信用できる人とか信用できん人も中にはおると思うんです。ほなけんていうて、その人のすべてが悪いとかいいとかでもなく、さっき彼女も言よったけど、岸本さんもそうやけど、「俺」とか言うけんていうてその人は悪いとか、そんなんでもないと思うんよ。いろんな人がおって世の中が成り立っていきよるって感じる人が多いかなって、この半年働つきよって思うし、自分は自分らしく生きていくことが一番大事ちゃうかなって。俺らは明るいけん、暗い中でみんなと話し合いをするのはめっちゃ嫌いやし、じっとしとれんよな、俺ら。じっとしとれんけんパーッと動きたいんやけど、今も。みんなも一つ二つ三つ、多い人は十個以上、いいところもつとると思うけん、そういうところをもっと明るく出していけるような人になれば全然いいんちゃうんかなって思います。

中川 私も専門学校に今通ってるんですけど、

中学校・高校と人権の勉強をして、専門学校とかそういう勉強することがないんよね。まわりのみんな、ポケモンGOばかり。校舎中うろうろしよるだけ。ほんな感じなんよね。ポケモンGOとかゲームとか、学校の専門になるような勉強ばかりで、人権の勉強とか全然まったくないんよね。ほなけん今、中学3年間と高校3年間の人権の授業学んだり、自分で勉強したりしてってくれたらいいなと思いますね。ポケモンGO楽しいですけど。しょうもないけど、やんよる。けど勉強は大事ですな。

名和中学校 2年 m 今日みなさんの話を聞いて、私は最初小学生の時に学習会が本当に大嫌いで、小学生でやってたのはずっとドリルばかりで、人権学習っていうものをしてなくて。でも先生に言って、「なんで人権学習しないんですか?」「なんでドリルばかりなんですか?」って訊いたら、「もうこういう時期だから。」とか、訳分からないこと言われて。でも中学生になって、ちゃんとした人権学習ができて、この交流会に来たら、みなさんが人権についてすごいちゃんと語ってくれて。私は部落差別される場所に住んで、いろいろと言われたことがあったけど、岸本さんがいろいろ言ってくれたときに、助けてくれる人がいるんだな、話を聞いてくれる人がいるんだなって思ってすごい嬉しかったです。また、部落の人が(肉の)解体してるっていう話で、部落の人だから解体してるってちょっとムカってきちゃって、部落の人に対しての言葉がすごい酷いなと思って、すごい共感できました。

国府中学校 3年 n 自分はずっと中学校に入ってから、人権学習担当の先生が3年連続担任でずっと学習してきたんですけど、学習すればするほど、なんで部落差別っていう言葉がある

んだらうみたいなこと思ってきて。もし自分の子どもとかが生まれてきたときに、部落ってどういう意味なんみたいなことを訊かれたときに、何て答えたらいいいんだらうみたいな。何て答えることが正しいんだらうみたいな。すごい差別されてきた地域やけど、お前は差別したらあかんよみたいなこと言ったら、めっちゃ上から目線なんじゃないかとか、めっちゃ失礼なんじゃないかみたいな感じでめっちゃ思ってて。自分で答えがうまく出せないんですけど、そこら辺のこと聞きたいなと思って。

森下 難しいな。でもさっきも言うたけど、嘘は言わん方がええかな。やっぱりちゃんとあったありのままの事実を、しっかり伝えた方がいいかもしれん。

吉成 中にいる人間は分かりにくいのかもじゃないけど、中にいるからこそ、その地域の良さとかあたたかさとか人のつながりとか、そんなのは分かることない?



森下 分かりますよ。確かに自分らの地域は学習会もあったし、自分らが小学校1年生だったときでも、6年生とか5年生の先輩は優しいようなイメージは今でもある。そこで夏に祭りとかがあり、集まってみんなでワイワイしたり、そういうつながりはあるんちゃうかなって思う。大人もみんな優しいし面白いし。部落差別、部落差別ばかり言ったら、悪いではないんやけど、そういう方向しか見えんようになってしまうかもしれんの

やけど、実際今のところ考えてみたら、いいことの方が多かったかもしれん。逆に言うたら自分が部落出身じゃなかったら、もしかしたらここで話してないかもしれんし。勉強してないかもしれんし。ほれを考えたら、まだまだ19年しか生きてないけど、生まれたけん最悪じゃとかは、今まで一度もこの町には思ったことないかなと思うかな。どう？

中川 正直自分が関わっとるけん、勉強しよったっていうんが、一番最初の気持ちなんよね、ほなけん絶対に、絶対かは分からんけど、自分に関係がなかったら、勉強してなかったかもしれんのんね、私の気持ちとして。私の性格上。ほなけん今みんながこうやって勉強してくれるのとは全然関係ないかもしれん。何があるかもしれんけど。こんだけみんなが集まってくれて勉強してくれるんもすごいありがたいし嬉しいし。ほうやって自分の子どもができたときに何て言えばいいだろうって、ほこまで考えれるんもすごいなって思うし。まだそこまで全然考えたことないんよね。とりあえず、自分の将来の子どもに言う言葉っていうんは、今自分ができる勉強をして、知識を蓄えて、ほれからどんなだったか、どんなかっていうんを教えていけたらいいかなって、自分は思ってます。

吉成 うちには別に子どもに言ってないのよ。訊いてこないから言ってないのよ。けどもし訊いてきたら、出会わすと思う。



司会者 まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後にもう一度拍手をお願いします。

さて、この後昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引き替えを行いますので、代表の方は1階の受付へお越しください。なお基本的にお弁当は、この場所で食べてください。また後から来られて受付をされてない方も1階の受付へお越しください。まだ名札をつけてない方は、名前が分からないので、この後、全体会場の後ろの席で作り、必ずつけておいてください。

それではお互いに交流し合いながら食事をし、お昼のひとときをお過ごしください。なお午後の部の開始時刻は13時です。遅れないように元の場所に集合してください。よろしくをお願いします。それではいったん解散してください。

